

2022 年度事業報告

2022 年度に実施した事業は次のとおりである。

I. 事業報告

1. 出版事業

1.1 「環境情報科学」の発行

- ・機関誌「環境情報科学」を計 4 回発行し、会員に配布した。
- ・50 周年記念に関連した特集や関連記事を企画・掲載するとともに、各号については編集委員会において特集テーマを定め、当該分野の研究者等の寄稿による最新の知見等の特集記事として掲載した。また、「環境政策の最前線」と題した連載記事を毎号掲載した。
- ・査読付き審査を経て採択となった会員からの投稿による研究論文等 9 編を掲載した。

各号の特集テーマや発行時期については以下の通りである。

- ①51 巻 2 号 特集：50 周年記念特集号(3)_環境情報科学のこれまでとこれから__ 2
連載：＜環境政策の最前線＞座談会 ウクライナ紛争を受けた環境政策の最新動向
その他：一般公開シンポジウム開催報告／「地域循環共生圏の実現に向けた研究の推進—環境情報科学センターの提言」にかかるコメントについて
(2022 年 7 月 21 日発行, 114pp.)
- ②51 巻 3 号 特集：人口減少へ向かう人類社会とサステナビリティ研究
連載：＜環境政策の最前線＞座談会 くらしのグリーン・トランスフォーメーション—持続可能な食・ファッション・スポーツに向けて
その他：報告 第 22 回環境情報科学センター賞 ほか
(2022 年 9 月 29 日発行, 110pp.)
- ③51 巻 4 号 特集：生物多様性のための 30by30 目標の達成に向けて
連載：＜環境政策の最前線＞外来生物法の改正と狙い
(2022 年 12 月 28 日, 108pp.)
- ④52 巻 1 号 特集：環境 NGO/NPO の役割
連載：＜環境政策の最前線＞座談会 2022 年の振り返りと 2023 年の政策の注目ポイント
その他：第 19 回環境情報科学ポスターセッション 発表要旨集
(2023 年 3 月 30 日発行, 150pp.)

1.2 「環境情報科学学術研究論文集」の発行

- ・査読付き審査を経て採択となった環境情報科学に関する研究論文 34 編・報告 9 編を掲載した「環境情報科学学術研究論文集 36」(電子版)を発行し、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した(2022 年 11 月 30 日発行：261pp.)。

1.3 「Journal of Environmental Information Science」の審査・発行

- ・査読付き審査を経て採択となった環境情報科学に関する英文の原著論文 8 編・短報 1 編・報告 1 編の計 10 編を掲載した電子ジャーナル「Journal of Environmental Information Science, Vol. 2021, No. 2」を発行し、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した(2022 年 5 月 16 日発行：106pp.)。

- ・査読付き審査を経て採択となった環境情報科学に関する英文の原著論文 4 編・報告 1 編の計 5 編を掲載した電子ジャーナル「Journal of Environmental Information Science, Vol.2022 No.1」を発行し、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した（2022 年 10 月 26 日発行：55pp.）。
- ・「Journal of Environmental Information Science, Vol.2022, No.2」への投稿論文を公募し、投稿された計 10 編の論文の審査を行った。

2. 表彰事業

2.1 環境情報科学センター賞の表彰・報告

- ・第 22 回環境情報科学センター賞は、センター賞選考委員会における慎重な審査・選考を経た後、理事会において最終審議を行い、下記の通り学術論文賞 1 件・学術論文奨励賞 4 件を受賞者として決定した。また、表彰式および受賞者講演を 2022 年度環境情報科学 研究発表大会（オンライン開催）にて行った。

学術論文賞：「消費を通じた被災地復興支援行動と利他的意識に関する一連の研究」

（有賀健高 氏：埼玉大学大学院人文社会科学部研究科）

学術論文奨励賞：「屋外熱環境解析のための新手法の開発と応用」

（ソユファン 氏：（公財）環日本海環境協力センター）

学術論文奨励賞：「世界遺産登録に向けた鳴門海峡における景観の価値と視点場の評価に関する研究」

（大平和弘 氏：兵庫県立大学自然・環境科学研究所）

学術論文奨励賞：「公共的意思決定過程の議事録に対する会話分析による議論構造の推移の可視化」

（岩見麻子 氏：熊本県立大学総合管理学部）

学術論文奨励賞：「LCIA 手法等に基づく国内外の行政区域の環境影響評価に関する研究」

（山崎潤也 氏：慶應義塾大学大学院理工学研究科）

- ・第 23 回環境情報科学センター賞の推薦募集を行い、推薦案件について審査・選考を行った。

2.2 環境情報科学ポスターセッションにおける優秀ポスターの表彰

2022 年度環境情報科学 研究発表大会において開催された第 19 回環境情報科学ポスターセッションにおいて、計 44 編の研究発表が行われ、学術委員会を中心とする審査委員 8 名が発表内容並びに質疑応答への対応等を総合的に評価した結果、一般の部並びに学生の部において計 9 件の発表を優秀賞として選考し表彰した。

【一般の部】

理事長賞	・アスベスト対策を目的とした解体等工事の立入計画へのネットワーク分析の活用 豊永悟史 氏（熊本県保健環境科学研究所大気科学部）
学術委員長賞	・人口減少地域における雪害の将来リスクと適応策の検討 小野 聡 氏（千葉商科大学商経学部）

【学生の部】

理事長賞	①洋上風力発電の推進における協議会の現状と課題―漁業者との調整に着目した日英比較 安藤彰子 氏（東邦大学理学部生命圏環境科学科） ②中国の機関投資家はグリーン・ボンドをどこまで許容しているのか 善野吉博 氏（埼玉大学大学院人文社会科学部研究科）
学術委員長賞	①「地元には何もない」という理由に関する研究 谷口 渚 氏（筑波大学理工学群社会工学類） ②都市化指標と生物多様性指標の関係性についての予備的研究―中部地域を事例として 金井李笑 氏（中部大学大学院創造エネルギー理工学専攻）
事務局賞	①滞留年数の延長による将来ストック・フロー及び CO2 排出量への影響評価―道路におけるケーススタディー 藤川奈々 氏（名古屋大学大学院環境学研究科） ②重金属表層土壌汚染地におけるサステナブル・レメディエーションに関する研究～環境・経済・社会の評価パラメータの検討と対策手法別評価

	万晟吉 氏(横浜国立大学大学院環境情報学府) ③温熱環境情報の提示が空間利用に与える影響に関する研究 深谷恭平 氏(筑波大学大学院システム情報工学研究群)
--	---

3. 学術交流事業

注) 講演者等の肩書は開催当時のものを記す

3.1 環境情報科学研究発表大会の開催

本大会では、環境情報科学に関する研究論文発表、環境情報科学ポスターセッションでのポスター発表およびライブ質疑、一般公開シンポジウム、環境情報科学センター賞表彰式ならびに受賞者講演、会員から募集した企画セッションが行われた。なお、シンポジウム、企画セッションは一部のプログラムについては一般の参加者も含め参加費無料にて配信した。

なお、一般公開シンポジウムでは、持続可能な社会の実現やGXに対応して分野横断的、統合的な解決策を提示できる環境情報科学の将来への展開等について幅広い視点から議論が行われた。

日 程：2022年12月5日（月）～11日（日）

会 場：オンライン開催（環境情報科学センターHP内特設ページ）

参加者数：276名（会員189名・非会員87名）

内 容：・研究論文発表＜動画配信＞（43題）

・第19回環境情報科学ポスターセッション発表＜動画配信＞およびライブ質疑（44題）

・第22回環境情報科学センター賞 表彰式・受賞者講演

・会員による企画セッション（3セッション）

・公開シンポジウム「環境情報科学の将来展望～持続可能な脱炭素社会に向けたCEISの役割～」

＜12月8日開催；基調講演・特別講演は事前動画配信＞

後 援：環境経済・政策学会、環境アセスメント学会、環境福祉学会

出演者：基調講演 武内和彦 氏（財団法人地球環境戦略研究機関理事長）

上田康治 氏（環境省大臣官房総合環境政策統括官）

モデレーター 藤田八暉 氏（久留米大学名誉教授（CEIS常務理事）

パネリスト 杉山昌広 氏（東京大学未来ビジョン研究センター准教授）

藤崎亜矢子 氏（東京女子大学現代教養学部教授）

松本 亨 氏（北九州市立大学大学院国際環境工学研究科教授）

ディスカッサント 馬奈木俊介 氏（九州大学主幹教授）

大倉紀彰 氏（環境省大臣官房総合政策課政策調整官）

3.2 環境サロンの開催

機関誌「環境情報科学」との連動企画や、『「地域循環共生圏」の実現に向けた研究の推進 CEISの提言』の普及などを目的として関連するテーマで企画・開催した。

1) 第151回環境サロン「人口減少と持続可能性」

日時：2022年12月21日（オンライン開催）

講師：寺本 剛 氏＜中央大学理工学部教授＞

参加人数：24名（内訳 会員17名・非会員7名）

2) 第152回環境サロン「人口減少下における地域循環共生圏の可能性ー「オーナーシップ」に焦点を当てて」

日時：2023年1月16日（オンライン開催）

講師：浜島 直子 氏＜環境省自然環境局生物多様性主流化室 室長＞

参加人数：28名（内訳 会員26名・非会員2名）

3) 第153回・第154回環境サロン「地域循環共生圏」トークセッション

○第153回 生物多様性保全と地域循環共生圏

日時：2023年3月16日（オンライン開催）

講師：藤崎 亜矢子氏（東京女子大学現代教養学部 教授）

西田 貴明 氏（京都産業大学生命学部 准教授）

参加人数：27名（内訳 会員22名・非会員5名）

○第154回 再生可能エネルギーと地域循環共生圏

日時：2023年3月28日（オンライン開催）

講師：平野 勇二郎氏（国立研究開発法人国立環境研究所 主幹研究員）

竹内 彩乃氏（東邦大学理学部 専任講師）
ファシリテーター：小谷幸司（日本大学生物資源科学部 教授）
参加人数：30 名（内訳 会員 23 名・非会員 7 名）

3.3 論文執筆支援セミナーの開催

CEIS 論文集に投稿予定の方、論文投稿についてより実践的に学びたい方、論文執筆の基礎を学びたいと考えている方などを対象に、論文執筆支援セミナーを動画配信するとともに、個別の相談会をオンラインにて行った。

日 時：2023 年 2 月 28 日～3 月 7 日

講 師：赤渕芳宏 学術委員：名古屋大学大学院環境学研究科
有賀健高 学術委員：埼玉大学経済学部
片野洋平 学術委員：明治大学農学部
小林 剛 学術委員長：横浜国立大学大学院環境情報研究院
竹内彩乃 学術委員：東邦大学理学部
土屋依子 学術委員：目白大学社会学部
村上暁信 論文審査委員会副委員長：筑波大学システム情報系
参加者数：34 名（内訳 会員 24 名・非会員 10 名）

4. 創立 50 周年記念式典の開催

弊センターの創立 50 周年を記念して、記念式典を開催した。式典では来賓の方々からの祝辞をいただくとともに、20 年以上にわたり弊センターの活動をご支援いただいている賛助会員 5 団体ならびに 10 年以上にわたり弊センター役員としてご尽力いただいた役員功労者 11 名に感謝状ならびに記念品を贈呈した。会場の様子はオンラインにてライブ配信を行った。

日時：2022 年 6 月 20 日（月）15 時～16 時

会場：主婦会館プラザエフ 会場クラルテ（東京都千代田区六番町 15）

参加者数：約 30 名

内容：・理事長式辞

- ・来賓祝辞：木本 昌秀 氏（研究開発法人国立環境研究所 理事長）
中井徳太郎氏（環境事務次官）ビデオメッセージ
渡辺 知保 氏（環境科学会会長）ビデオメッセージ
小野 良平 氏（日本造園学会会長）ビデオメッセージ

- ・功労者感謝状授与

<役員功労者表彰(11 名)>

原科幸彦 氏	福岡義隆 氏	福井弘道 氏	盛岡 通 氏
植田和弘 氏	島田正文 氏	大槻 忠 氏	野々村邦夫 氏
河野英一 氏	都留信也 氏	木村 弘 氏	

<賛助会員（5 団体）>

株式会社地域開発コンサルタント	玉野総合コンサルタント株式会社
一般財団法人計量計画研究所	株式会社ハオ技術コンサルタント事務所
一般財団法人公園財団	

5. 学術活動の活性化

- ・50 周年記念事業の一環として 2021 年度末にホームページ上で公開した「地域循環共生圏の実現に向けた研究の推進 CEIS の提言」の周知とフォローアップのため、機関誌「環境情報科学」での同提言に関するコメント等を掲載するとともに、環境サロンにおいてトークセッションを行った。
- ・当センターの学術活動の場における議論や交流の活性化のため、環境情報科学研究発表大会を開催し、環境情報科学に関する多様な研究分野の論文発表、ポスターセッション、企画セッションや公開シンポジウム等を開催した。

6. 調査研究事業

2022 年度は主に下記の調査研究等を受託し、実施した。

発注先	件 名
環境省	環境保健サーベイランス調査に係る集計（3 歳児）、並びに解析及び環境評価（3 歳児及び 6 歳児）に関する委託業務
環境省	化学物質ファクトシートの更新及び作成にかかる調査検討業務
環境省	化学物質情報検索支援のための情報収集・整理及び課題検討等業務
環境省	化学物質アドバイザー派遣事業運営業務
環境省	化学物質に関するリスクコミュニケーションやリテラシー向上に向けた調査検討業務
環境省	エコチル調査に関する企画評価等実施業務
環境省	暑熱環境に対する適応策調査業務
環境省	石綿健康被害救済制度に関する海外動向等調査業務
国土交通省	IMO の環境規制への対応に係る調査
国土交通省	下水道における化学物質排出量の把握及び化学物質管理計画の策定推進等に関する調査業務
経済産業省	化学物質安全対策（化管法届出外排出量推計に関する調査）
川崎市	公害防止調査研究業務委託
川崎市	川崎市環境技術・国際連携プロジェクト支援業務
神戸市	将来の気候変動の影響を踏まえた暑熱環境の適応策に係る調査・研究業務
国立研究開発法人 国立環境研究所	エコチル調査におけるデータ共有/成果発表に係る調査・検討等業務
国立研究開発法人 国立環境研究所	有害化学物質の環境放出事故事例調査業務
国立研究開発法人 国立環境研究所	中心仮説解析計画検討ワークショップ運営補助業務
国立研究開発法人 国立環境研究所	ライフスタイル変容シナリオによる二酸化炭素排出量推計支援業務
独立行政法人 環境再生保全機構	地域における効果的な熱中症予防対策推進にかかる業務における支援業務
独立行政法人 環境再生保全機構	地方公共団体が実施するソフト 3 事業のアンケート集計及び分析等業務
独立行政法人 環境再生保全機構	ぜん息患者数等に関するデータ整理業務
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	エコチル調査に関するアウトカム測定方法等の検討支援業務
教育機関	市街地温熱環境の実測調査
民間企業	グリーン調達、環境マネジメントシステム運用及び紛争鉱物調査支援業務
民間企業	地域熱中症リスク管理支援業務
民間企業	Web コンテンツ等作成業務
民間企業	容器包装リサイクル法に基づく市区町村ごとの分別収集量等集計業務
民間企業	法令等コンテンツ作成/法改正情報メンテナンス
民間企業	気候変動対策を踏まえた光化学オキシダント対策及びコベネフィット型大気汚染対策に係る海外最新動向等フォローアップ調査業務
民間企業	工場建屋内の暑熱環境対策検討調査
民間企業	安全データシート（SDS）改訂業務
民間企業	暑熱適応まちづくり研究会の助言業務

7. その他

6.1 第2次中期計画2025及び長期ビジョンの作成

- ・50周年記念事業による提言等を踏まえて、CEIS長期ビジョンの検討、中期計画の見直しのため、第2次中期計画2025及び2030長期ビジョン策定のための特別委員会（委員長：藤田八暉 常務理事）を設置し、第2次中期計画2025及び長期ビジョンの作成を行った。

6.2 運営基盤の強化

- ・事務局の総務・経理業務の改善、会員データベースのクラウド化など、組織のガバナンスの強化を図った。

6.3 広報体制の強化

- ・当センターの活動内容に関する広報強化と会員等への情報発信等のため、ホームページの改定等に着手した。

6.4 他団体主催事業への後援等

以下の行事について後援・協賛した。

- ・暑熱環境に適応する技術の普及に向けた研究会「暑熱適応の実践・評価事例に学ぶ」
主 催：（一社）日本建築学会 環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会 暑熱環境適応検討小委員会
開催日：2022年7月6日（水）
場 所：Web会議
- ・日本リスク学会第35回シンポジウム「社会課題の解決につながるリスク評価とは？」
開催日：2022年6月24日（金）
場 所：オンライン開催
- ・第8回全国高校生2022年度環境スピーチコンテスト
主催：千葉商科大学
- ・日本リスク学会第35回年次大会
開催日：2022年11月12～13日
場 所：京都大学桂キャンパスおよびオンライン
- ・第26回多摩市身のまわりの環境地図作品展
場 所：オンライン開催
多摩市立瓜生小学校6年 伊藤 直希さんの作品『多摩市絶景！スポットマップ』に当センター理事長賞を授与した。
- ・EcoDesign2023 国際会議
主 催：エコデザイン学会連合
開催日：2023年11月29日～12月1日
場 所：奈良県コンベンションセンター

II. 会員の増減

2022年度末における会員状況は次の通りである。

会員種別	前年度末 (口数)	入会者数	退会者数	転格者数増減	2022年度末 会員数	年間増減数
正会員	760	55	93	0	722	▲ 38
シニア会員	33	0	5	1	29	▲ 4
名誉会員	2	0	0	5	7	5
準会員	98	50	59	-6	83	▲ 15
賛助会員	23	1	3		21	▲ 2
購読会員	59	0	3		56	▲ 3
総計	975	106	163	0	918	▲ 57

Ⅲ. 総会・理事会・各委員会の開催

2022 年度における総会・理事会・各委員会等の開催は次のとおりである。

1. 定時総会の開催

【定時総会】

開催日：2022 年 6 月 20 日（月）
会 場：主婦会館プラザエフ 会議室クラルテ
議 題：第 1 号議案 2021 年度事業報告
第 3 号議案 2022 年度事業計画（案）
第 4 号議案 2022 年度予算計画（案）
第 5 号議案 名誉会員の推挙について
出席会員（委任状を含む）：411 人

【定時総会 継続会】

開催日：2022 年 7 月 5 日（火）
会 場：環境情報科学センター 会議室
議 題：第 2 号議案 2021 年度決算報告
出席会員（委任状を含む）：398 人

2. 理事会の開催

- ・開催日：2022 年 5 月 27 日（金）
会 場：オンライン 出席理事 16 名・出席監事 2 名
- ・開催日：2022 年 9 月 9 日（金）1
会 場：オンライン 出席理事 10 名・出席監事 1 名
- ・開催日：2023 年 2 月 2 日（木）
会 場：オンライン 出席理事 15 名・出席監事 2 名
- ・開催日：2023 年 3 月 23 日（木）
会 場：オンライン 出席理事 17 名・出席監事 2 名
- ・臨時理事会（メール審議）
開催日：2022 年 6 月 24 日（金）
出席（回答）理事 13 名

3. 審議員会議の開催

開催日：2022 年 5 月 13 日（金）
会 場：オンライン 出席審議員：11 名

4. 委員会等の開催

- (1) 総務委員会 （2022 年 4 月 15 日・7 月 29 日・9 月 28 日・2023 年 3 月 22 日）
- (2) 第 2 次中期計画 2025 及び長期ビジョン検討特別委員会
（2022 年 9 月 14 日・11 月 1 日・12 月 14 日・2023 年 2 月 22 日・3 月 7 日）
- (3) 編集委員会 （2022 年 6 月 2 日・9 月 6 日・12 月 23 日・2023 年 3 月 27 日）
- (4) 英文誌刊行等委員会 （2022 年 4 月 14 日・6 月 21 日・10 月 14 日・12 月 22 日）
- (5) 学術委員会 （2022 年 4 月 13 日・8 月 29 日・12 月 14 日）
- (6) 論文審査委員会 （2022 年 6 月 27 日・8 月 22 日・10 月 11 日）
- (7) 環境情報科学センター賞選考委員会 （2022 年 4 月 22 日・6 月 8 日・2023 年 1 月 26 日・2 月 22 日）
（ほかメールでの委員会等の開催あり）